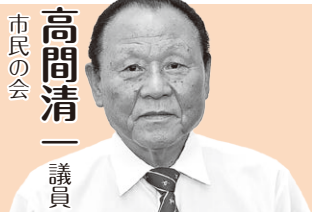


○ 新型コロナウイルス対策について



高間清一
市民の会
議員

問 非常に感染力を持つデルタ株は、通常のウイルスよりも2倍から3倍の感染力を持っている。

答 第5波だけで10000人を超えている福井県。9月7日現在、ワクチン接種状況は、12歳以上の対象者約70万人のうち、2回接種した人は約41万人、1回接種した人は約50万人。

3日の発表では、感染者の約94%が未接種で、そのうち30歳までが64%を占め、20代の感染者割合26%が最も多かった。

65歳以上の人が9割近く2回の接種を終えた一方、40歳未満の人の割合は4割に満たない中、早く接種予約するようお願いしているが、次の点について質問したい。

- ① 勝山市の現状はどうか。
- ② コロナ経済対策として飲食店等の支援はどうか。
- ③ 希望者の接種後の全体的な緩和はどうか。

答 ① 9月13日現在、12歳以上の対象者2万719人のうち、1回目を接種した人は1万6801人で81.1%、2回目を接種した人は1万5452人で74.5%。40歳未満では、1回目を接種した人は59.6%、2回目を接種した人は44.9%となっている。

② 食事代から2000円を割り引く「お座敷体験クーポン券」は、9月末まで期間を延長して実施している。また、国や県の動向を注視しながら、現在発行を中断している30%のプレミアム付きお食事券の発行について、準備を進めている。

その他、新型コロナウイルス感染症対策資金償還支援補助金の実施や、電子マネー決済ポイント還元キャンペーン、ワクチン接種会場での観光バス活用等、飲食店以外への業種にも支援を行っている。

③ 政府は、ワクチン接種の進展を見据え、9月9日に行動宣言緩和に向けた「基本的方向性」を決定した。希望者へのワクチン接種完了を目指す11月ごろを念頭に、接種証明やPCR検査等の陰性証明を活用した緊急事態宣言下でも飲食店の酒類提供や県をまたぐ移動の容認、大規模イベントの人数制限も緩和する内容で、制限緩和は段階的に行い、国民的な議論を踏まえ具体化を進めていくとしている。

勝山市においても、引き続き国、県の方針を注視して適切に対応していく。

○ 勝山市立中学校再編計画(案)について
○ 自然と歴史文化遺産を活かしたまちづくり



富士根信子
市民の会
議員

問 ① 新中学校独自の体育館とグラウンドの設置、成器西小学校の連携での新中学校建設について伺う。

答 ② 県会議員が併設について市が望んでいるかのように県会で質問したのはどうでしょうか。

答 ① 中高併設に伴う体育館とグラウンドについては、市民意見交換会等で高志中高校との比較から面積や生徒数的に可能だが、工夫と調整は必要となる旨の説明をしてきており、議員ご提案の中学校独自の体育館の設置やグラウンドの保有は困難と考える。

また、成器西小学校と勤労者体育館跡地を活用した新中学校の提案は、その中で中学校専用の体育館やグラウンドの整備が不可能である等の問題があると考えます。

② 議員本人は、県における検討状況について質問したが、決してこの構想が勝山市で決定したとの前提での質問ではなかったと聞いている。

問 勝山市指定文化財史跡小笠原家累代廟所の修繕・保全・今後の活用研究について、市の見解を伺う。

答 小笠原家の廟所がある開善寺の管理者にお聞きすると、長年にわたる市内の障害者グループや観光ガイド、地域の方々によるボランティア清掃活動等により、江戸時代からの景観が保たれているという。

基本的に全ての文化財は、所有者または管理者の責任において管理され、修繕が必要な場合は、勝山市文化財補助金の活用を提案している。

市では、小笠原家の廟所が開善寺の管理下にあると同時に個人の墓としての位置付けがある現状を踏まえ、今後、管理者や関係団体等と廟所の修繕・保全・活用について協議を進めていきたい。

